

14歳〈フォーティン〉

満州開拓村からの帰還

澤地久枝

190781211 中尾祥樹

1. 十四歳の少女

a. 1994年9月3日少女14歳の誕生日

I. 愛国心の強い少女であった

⇒ 予科練に入りたい

II. 猩紅熱にかかり入院をする。

b. 退院後の少女

I. 女子生徒たち全員がお下げ髪

⇒ バラバラだと空襲の時に燃えやすいから

2. 秘密

a. 学校でのM先生とYさんの噂

b. 町での鉄製品の回収

⇒ポストや庭の塀代わりに有刺鉄線

c. 母の発言「ポストまで回収するようじゃ、この戦争は負けね」

d. 第1回の特攻攻撃が始まりその内容などの放送が始まり、」少女は戦争にのめりこむ。

3. 王道楽土

a. 吉林高等女学校の孫さん

I .五族協和との矛盾

⇒少女が白米なのに対し、孫さんののは粉を練って焼いたようなもの。中国の人は白米も砂糖も支給されていないことを知る。

b. 千人針を届けに会寧へ

3. 王道楽土

c. 「死」の知らせの増加

I .祖母、父の同僚、父が組長を務めた隣組の丸山薫さん

d. この世は嘘ばかりと知る

I .母の入院によりお世話になった小母さんの嘘

II 五族協和の配給制度の嘘

4. 戸籍謄本

a. 戸籍抄本

- I .父久太郎は四歳までに両親を失っている。
- II .親族会が行われた。

b. 戸主澤地久太郎

- I .三男稔についての記載
⇒満州の日本人を考えると極めて具体的

4. 戸籍謄本

c. 叔母さんの名前

- I .謄本には「くま」と記載
- II .母だけおくまさんと呼んだ

d. 叔母と叔父

- I .配られた弁当で叔母が食中毒にかかる
- II .叔父の「軍隊がいやになった」

5. 学徒動員・無炊飯

a. 国家総動員に関する意見

I. 定義 II. 精神動員 III. 各国の戦争への
向き合い方 IV. 代用品利用の部

b. 学徒出陣

I. 朝鮮、台湾でも徴兵制

c. 無炊飯の作業

I. 防水剤とシャーロックホームズの冒険



6. 水曲柳開拓団

a. 満州でも空襲がはじまり、
空襲を想定した訓練も始まった。

b. 堆肥豪の作業

c. 水曲柳村の開拓団

I . 満州の日本人は「苦勞知らず」

⇒少女は周りにならった。

II . 感じなくなっていた少女たちの帰宅



7.八月十五日・敗戦

a.吉林陸軍病院の特志看護婦

b.八月の一夜、吉林にも空襲

I .ソ連が対日宣戦布告を行い看護婦教育が
実務へと一変した

c.八月十五日、動員部隊の解散

d.家は兵隊宿になった

e.女は髪を切れ、男装しろ！

I .占領下の女の運命を本能的に少女は理解した

8. いやな記憶

- a. 八月十五日を境に情報がゼロになる
- b. ソ連軍兵が押し入り少女を襲いかけた
 - I . 大勢の前で襲われかけたという
出来事は少女のトラウマになった
- c. このことについて著者は完璧に逃げている
 - I . 27年後銃を持ったソ連兵を見つけ、
凍り付いたようになる⇒時効のない「傷」

9. 蟄居の日々

a. ソ連軍兵の事件による、瞬間凍結の状態

I .感じる心は閉鎖状態であった

b. 大人は先の見えない状態から

鬱を散じようと花札の勝負に現金をかけた

I .近藤がいかさまをしたNを殺したが

誰も咎めないという異様な空間であった

9. 蟄居の日々

c. 一方的に破られた閉塞

I .ソ連将校が毎日家を訪ねるようになった

II .特に問題はなく打ち解けたひととき

d. 日々の生活に慣れ元気になっていった

e. 1946年ソ連軍は撤退、中国共産党の治下

f. 発疹チフスの猛烈な拡大

I .父が発病

10. 内戦下

- a. 1946年吉林は中国共産党下であることを知る
- b. 一緒に行動していた近藤が強姦の罪で逮捕
- c. 父がソ連大使館の日雇いに通い始める
 - I .少女もたいこ焼きの店で働き始める
- d. 日本人の旧陸軍兵舎での共同生活
- e. ある夜少女は初めて戦争を目の当たりにした
 - ⇒ 数日後国府軍の勝利に終わった



11. 旧陸軍兵舎

a. 兵舎での生活

- I. 一人一畳
- II. 幼い子には危険なトイレ
- III. 食事
- IV. たった一度の風呂

b. 外出することへの懸念がなくなってきた

c. 町で知り合った中国人

d. 情報ゼロの日々

11. 旧陸軍兵舎

e. 「開拓の父」加藤完治の責任

I .少女の壮絶な日々の根源

f.国府軍の「女狩り」

g.引き揚げの準備が始まる

I 風景と軍人の入っている写真は持ち帰れない

II .伝染病への危惧のための予防接種

12. 日本へ

a. 敗戦直後からの日本人の願望

⇒いつ引き揚げが始まるのか

b. 日本人会が始まり徐々にニュースが届くようになった

c. 大隊編成による引き揚げが始まる

d. 引き揚げの日が決まり退去証明書の発行

I . 日付, 1946年8月13日

⇒実際の出発は14日

12. 日本へ

e.大隊での移動は長時間かかった

I .駅で一晩を過ごす

II .8月15日列車が動き出す

III引き込み線と呼ばれる列車のたまり場

IV.少女の大隊は一番先に出発した

f.錦県に到着し一度収容所へ入る

I 中国人銭湯へと母に連れられる



12. 日本へ

g.別の列車で出発をし乗船地点へ

I .そこでの記憶は少女には残っていない

II .急カーブで見た列車の全容をうっすら
と覚えているだけ

III .そして夕刻近く、満州との別れ



12. 日本へ

「少女はこの時、生活者から
子どもの領域に戻された」

⇒14歳という若さで子供という区分がない過酷な生活をしていた少女が帰国により一般の少女としての生活へと戻された